

各位

株式会社ミマキエンジニアリング
 代表取締役社長 池田和明
 (コード番号: 6638 東証プライム)
 問い合わせ先 常務取締役 清水浩司
 電話番号: 0268-80-0058

連結業績予想及び第2四半期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年8月1日に公表した連結業績予想及び2024年5月13日に公表した配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2025年3月期第2四半期(中間) 連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,900	3,900	3,600	2,550	88.50
今回修正予想 (B)	40,900	4,650	4,300	3,250	112.64
増減額 (B-A)	—	750	700	700	
増減率 (%)	—	19.2	19.4	27.5	
ご参考: 前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	35,437	2,331	2,014	1,412	49.09

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	82,500	7,400	6,800	4,900	170.06
今回修正予想 (B)	82,500	8,250	7,500	5,600	194.09
増減額 (B-A)	—	850	700	700	
増減率 (%)	—	11.5	10.3	14.3	
ご参考: 前期実績 (2024年3月期)	75,631	5,480	4,882	3,707	128.80

(2) 修正の理由

中間連結業績につきましては、売上高は、既存のプリンタ製品に加え前期から当期にかけて投入した各市場向けの
 新製品や、インクの販売が堅調に推移しました。利益は、高コスト部材を使用した製品の販売がほぼ終了したこと等
 により、売上原価率が改善しました。これらに為替のプラス効果が加わり、8月1日に公表した前回予想を上回る見
 通しとなりました。

通期連結業績につきましては、グローバルでの市場環境等は依然不透明な要素が多いものと想定しています。下期
 の売上高は、製品市場別及びエリア別の動向や、営業活動及び新製品投入等の見通しを踏まえて見直した結果、8月
 1日に公表した前回予想から変更ありません。下期の利益は、売上原価の見直しに伴い営業利益を修正するものの、

単体売上高の見直しに伴う為替差損の増加を見込むため、経常利益、純利益は前回予想から変更ありません。以上に、中間期見直しにおける前回予想からの修正分を加え、通期連結業績予想を修正いたします。

なお、連結業績予想の前提となる第3四半期以降の主要な為替レートは、1米ドル:138円、1ユーロ:150円とし、前回予想から変更ありません。

2. 配当予想の修正

(1) 2025年3月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2024年5月13日公表)	15円00銭	15円00銭	30円00銭
今回修正予想	17円50銭	15円00銭	32円50銭
当期実績	—	—	—
前期実績 (2024年3月期)	10円00銭	15円00銭	25円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置付け、業績の成長に見合った成果の配分を、安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としております。内部留保金につきましては、今後の事業展開への備えと財務基盤の強化に充当し、刻々と変化する経営環境の中でも持続的に成長していくための原資としていく考えです。

当第2四半期末配当につきましては、中間連結業績が前回予想を上回り、中間利益として過去最高を更新する見通しであることを踏まえ、前回予想から2円50銭引き上げ、1株当たり17円50銭に修正いたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上